

## 令和5（2023）年度 資源評価調査状況報告書（新規拡大種）

### タチウオ瀬戸内海

対象水域	瀬戸内海	参画機関名	水産研究・教育機構 水産資源研究所 底魚資源部、大阪府立環境農林水産総合研究所水産技術センター、兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター、和歌山県水産試験場、徳島県立農林水産総合技術支援センター水産研究課、愛媛県農林水産研究所水産研究センター栽培資源研究所、大分県農林水産研究指導センター水産研究部北部水産グループ、広島県立総合技術研究所水産海洋技術センター水産研究部
------	------	-------	--

#### (1) 調査の概要

- ・各府県は漁獲統計調査および一部魚体測定調査を実施
- ・本年度は資源評価調査報告書の作成は行わず、漁獲統計等の更新および関連情報の収集を実施

#### (2) データ収集状況

- ・機構では各県データを取りまとめ
- ・大阪府では、1989年1月～2023年10月の標本漁協における小型底びき網（以下、「小底」という）による月別漁獲量と努力量および2021年6月～2023年9月の魚体精密調査データを収集済み  
2023年11月以降の同様のデータを収集中
- ・兵庫県では、1992年～2022年の標本漁協における一本釣りによるCPUEを収集済み  
2023年以降の同様のデータを収集中
- ・和歌山県では、標本漁協（小底）における1980～2023年9月の月別銘柄別漁獲量を収集済み  
2023年10月以降の同様のデータを収集中
- ・徳島県では、標本漁協における2005～2023年10月の月別漁業種別漁獲量と努力量を収集済み  
2023年11月以降の同様のデータを収集中
- ・愛媛県では、1993年4月～2023年10月の標本漁協における小底による月別漁獲量と努力量を収集済み  
2023年11月以降の同様のデータを収集中
- ・大分県では、2019年1月～2023年9月の標本漁協における釣りによる月別漁獲量と努力量を収集済み  
2023年10月以降の同様のデータを収集中
- ・広島県では、2022年5月～2023年10月の標本船における曳縄による日別銘柄別漁獲量

を収集済み

2023年11月以降の同様のデータを収集中

(3) 生物学的特性

(1) 分布・回遊： 令和2年度資源評価調査報告書を参照

(2) 年齢・成長： 令和2年度資源評価調査報告書を参照

(3) 成熟・産卵： 令和2年度資源評価調査報告書を参照

(4) 被捕食関係： 令和2年度資源評価調査報告書を参照

([https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2020/report\\_2020\\_28.pdf](https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2020/report_2020_28.pdf)、2023年12月閲覧)

(4) 備考

・資源評価調査報告書については令和2年度に公表済み ([https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2020/report\\_2020\\_28.pdf](https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2020/report_2020_28.pdf)、2023年12月閲覧)、令和6年度に更新予定